※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　商業科

教　科	商　業	科　目	総合実践	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副 教 材 等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２クラス同時展開で東西の市場に分かれ、商品の売買や代金の決済などの模擬取引を行う。
　１学年から学んできた簿記、情報処理、ビジネス基礎などの商業科目の知識や技術を用いて、商業活動の実践的な業務を合理的・能率的に処理できるよう実践的な学習をします。
・売買業における仕入・販売取引の流れを学習します。
・各取引にともなう帳票の起票や記入について学習します。
・社会で必要な接遇マナーや社会人として必要なコミュニケーションと礼儀について、学習します。

２　学習の到達目標

商業の各分野に関する知識と技術について実践的活動を通して総合的に習得させ、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応をめざして主体的、合理的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。	ビジネスの諸活動への適切な対応をめざして思考を深め、商業の各分野で学んでいる知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を実践的、体験的な学習を通して身につけたうえで、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を実践的、体験的な学習を通して身につけたうえで、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。
評価方法	・授業態度 ・営業日誌 ・作成書類等	・作成書類等 ・定期考査 ・営業日誌	・作成書類等 ・定期考査 ・実習の観察	・定期考査 ・小テスト ・営業日誌

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	・学習の心構え ・職場のマナー	・学習の心構え ・職場のマナー ・電話応対の練習	○	○	○	○	a:学習の目的を正しく理解し、知識・技術を総合的に身につけるため、小テストの準備をし、前向きに小テストの内容理解に努めている。 b:一連の商品売買の業務を円滑に行うため、自身の進度を把握し、成すべき業務を考え、行動に移せる能力を備えている。 c:模擬取引の業務を円滑に遂行する技能を身につけている。ビジネスマナーを身に付け、正しい敬語で電話対応できる技能を身につけている。 d:学習の目的を正しく理解し、一連の商品売買の業務について必要な基礎的・基本的な知識を備えている。	授業態度 営業日誌 作成書類 定期考査 小テスト
	取引活動の要領 取引活動Ⅰ （同時同業） （対他市場） (1)仕入取引 (2)販売取引	取引活動の要領説明 ・帳簿の作成 ・同時同業方式による仕入取引・販売取引（対他市場）説明	○	○	○	○		
2学期	（対商事会社） (1)仕入取引 (2)販売取引	・同時同業方式による仕入取引・販売取引（対商事会社）説明	○	○	○	○	a:意欲的に業務に就き、夏季課題として時事問題、企業（学校研究）研究についてのレポートを提出する。 b:自ら考え、実行し、自らの力で解決するという自主的な学習活動を行い、業務を合理的･能率的に処理する能力と態度を身につけている。 c:各種の文書や帳簿などを、正確・迅速・丁寧に記入し処理する能力を身につけている。 d:関係する機関部においての手続きや作成する書式についての内容と役割を正しく理解している。	授業態度 営業日誌 作成書類 定期考査 夏季課題
	取引活動Ⅱ （自由取引） (1)仕入取引 (2)販売取引 (3)商事会社の利用 (4)運輸会社の利用 (5)銀行業務と利用 (6)月末の処理	帳簿の作成 １班３名で１つの会社（総務係・仕入係・販売係）を組織し、東西に分かれて模擬取引を行う。	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

３学期	決算手続 (1)決算の手続き (2)財務諸表の作成 (3)経営分析 (4)課題研究	各種書類を作成する ・照合表 ・棚卸表 ・銀行勘定調整表 ・商品価格計算表 ・営業報告一覧表 ・決算整理（振替）仕訳 ・精算表・損益計算書・貸借対照表 ・帳簿の締め切り ・決算概況報告	○	○	○	○	a:意欲的に業務に就き、冬季課題（決算業務に関わる課題）を作成して提出する。 b:仕事の内容や手順を十分に理解した上で、個々の仕事が全体の企業経営にどのように結びついているのかを判断しながら、執務できる。 c:決算業務を正しく進め、効率的に計算・記入・整理できる。 d:財務諸表作成方法を正しく理解するとともに、計数を分析して経営活動を評価することができる。	授業態度 営業日誌 作成書類 定期考査 冬季課題

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　／　b:思考・判断・表現　／　c:技能　／　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。